



WEEKLY REPORT

2008-2009 No.35 2009年3月26日

会長◆鈴木安之 会長エレクト◆臼井 浩 副会長◆矢部房男 村田典昭
 幹事◆三宅 謙 SAA◆桐田吉彦 会計◆市川 浩 ◇広報委員長:石田 隆
 E-mail:zushirc@sage.ocn.ne.jp Website:http://www.zushi-rc.com/

例会日・第1・3木曜日 12:30~13:30 第2・4木曜日 18:30~ 第5木曜日 18:00~

例会場・逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL:046-870-6651

事務所・逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル 2F TEL&FAX:046-873-0226

本日の進行(18:30)

丸山 あかね氏
「官能から福祉まで」

一次回のお知らせ

4月2日(木)(12:30)
矢部 房男会員
「日中友好協会について」

◀ 第 2293 回 例会記録 2009年3月19日 ▶

出席報告	会員数 42 名(出席免除 6 名)	出席数 19 名	出席率 52.78%	前回修正出席率 63.89%
スピーカー	福嶋 謙之輔 会員			
ピジター	鈴木 和夫君(藤沢東)			

■ 会長 談 話 鈴木 安之 会長

4月10日から最終日7月7日まで、渡邊会員がルイス君のホストファミリーを引き受けてくれました。よろしくお願ひします。その間リリースに松井会員、山科会員、私(鈴木(安))が、控えております。

14日開催のアチェ・チャリティーコンサートは辻康介君の演出を始め素晴らしかったですね。チケットは完売、空席は目立ちましたが十分な寄付が出来、目的が達成されたようです。

さて、小泉氏、竹中氏の郵政民営化ですが、良いか悪いかはともかく、今、見直しの時期にきています。郵便貯金と簡保は日本人の最後の預金、と思ひますが、あの民営化はアメリカが仕掛けたのではないかと薄々感じられます。「かんぼの宿」などが十分の一にも満たない金額で売却されたことで流石の鳩山さんも怒りました。日本国はどうあるべきか、良く考えたいと思ひます。

■ 報 告

幹事報告 *0-クリート 4/1より1ドル98円
 *現・次任アチェ委員会:4/11 藤沢産業センター
 *歌舞伎観賞会(ルイス君):6/20 国立劇場
 *地区補助金申請延長 4/30 まで
 山本由夫次年度幹事→



ポリオ撲滅・藤沢市みどり基金
 ・鎌倉市緑地保全基金
 チャリティーコンサートに協力を!
 地区財団補助金
 鈴木和夫副委員長



アチェ・チャリティーコンサート開催 4月14日(土) 於:逗子文化プラザホール
 ロータリー財団 2780 地区学友会 主催 (逗子ロータリークラブ 後援) 演奏者:財団学友



インドネシア・アチェ州の子どもたちに チャリティー益金で 図書を送贈
 2009-10RI テーマ「夢をかたちに」、継続的テーマ「識字率向上」に呼応し図書館設立を目指す。財団学友高橋潤代表幹事より当クラブに、後援・チケット多数枚購入に対してのお礼と、チケットの完売・目標達成の報告が届いた。

今日は久しぶりにスピーチをさせていただきます。今までに4回「美食の果てに」のテーマでお話させて頂き、今回は美食の果ての結末編と言うことでお話しいたします。

今までの人生73年、反省することばかりです。多くの反省点の中で、取り返しのつかないのが健康です。後悔先に立たずとはまさに今の自分の状況です。若い時の暴飲暴食がたり、糖尿病そして腎不全になり人工透析の毎日です。毎日の生活は色々な面で制約を受け、不自由な生活をしております。

皆様もご存じの事と思いますが人工透析には二つの方法があります。その一つは血液透析です。一回の透析に3~4時間かかり、一週間に3回通院して治療を受けなければなりません。もう一つの方法が腹膜透析です。腹膜透析は腹膜の中に透析液を注入して血液を浄化する方法です。腹膜透析にも色々方法がありまして、私の場合は一日3回、2000ccの腹膜液を体内に注入して治療を行ってまいりました。ただ血液透析と違って通院せずに自宅で出来るので、プログラムの作り方で昼間は自由で、仕事は何とか出来ます。

昨年の2月に医師の勧めで腹膜透析のためにお腹にパイプを入れる手術をし1ヶ月の入院生活の後、自宅で治療をしてまいりましたが、9月にクラブの旅行で



軽井沢に行き町の中を2~3時間散策して帰宅した所、翌日腹膜液が腹膜から「いんのう」に流れ出し、緊急入院となってしまいました。又開腹手術をして約一ヶ月間入院、入院中は腹膜透析が出来ず血液透析を経験致しました。首の静脈に針を刺し週3回ベッド上の4時間は大変でした。

今は「ゆめ」という方法—この方法は夜9時間に亘り機械が自動的に血液の浄化をする—で透析を行っております。非常に楽ですが夜とはいえベッドに9時間拘束され大変です。腹膜透析は血液透析に比べて食事の制限があまり厳しくなく、食事が楽しめます。もちろん「アルコール」もOKです。

くどくどと色々申し上げましたが、自分の生活管理の悪さから現在の拘束された生活を強いられております。今や生活習慣病（糖尿病、痛風、高血圧、慢性腎臓病等）が日本の疾病対策の主眼となっております。会員の皆様方も日々の生活に気を付けて、後悔先に立たずという事の無いよう楽しい毎日を過ごす事をお祈り致します。大先輩である桐ヶ谷さん、毛利さん、石黒さん、そして市川さん、渡邊さんを見習っていつまでも元気で楽しい生活を送りたいものです。今後とも楽しいお付き合いをお願いしてお話しを終わらせて頂きます。



■ ニコニコBOX (27,000円)

鈴木和夫君…ポリオ撲滅のEIL大学チャリティコンサートの際に来ました。よろしくお願い致します。

福嶋君…本日スピーチ、病人の話で申し訳ありません。

鈴木(安)君…娑婆に何度も帰られた不死命の福嶋さん、卓話楽しみにしています。

矢部(房)君…福嶋様、スピーチ感謝します。

山口君、湊屋君、山科君、渡邊君…福嶋さん、スピーチよろしくお祈りします。

石田君、山本(由)君…福嶋会員、卓話よろしく。

毛利君、岩瀬君…福嶋さん、スピーチ楽しみです。

山本(三)さん…福嶋さん、美味しい話をよろしく。

石黒君…福嶋さん、腰痛の話もどうぞ。

臼井君…PETに行ってみりました。

松田君…春ですねー。

村田君…天気晴朗、波高し。

桐ヶ谷君…厚さ寒さも彼岸まで。

ニコニコBOX 本日合計 ￥ 27,000

累計 ￥ 1,395,000+

コラム

《再び・・子供の権利について》

子供の権利についてわが国の憲法に書き入れようと努力した女性をご存知でしょうか。ベアテ・シロタ・ゴードン(Beate Sirota Gordon, 1923年10月25日-)がその人です。ウィーン生まれでユダヤ系ウクライナ人(ロシア統治時代)の父母を持ち、少女時代に日本で育ちました。22歳でGHQ民政局に勤務し、憲法草案制定会議のメンバーとして来日し、憲法の起草で人権条項作成に関与しました。日本では米国にさえ存在しないような急進的な人権保護規定を起案し、その一部は現憲法に反映しています。ベアテの草案の一部は、次の通りです。

第21条 すべての子供は、生まれた環境にかかわらず均等にチャンスが与えられる。そのために、無料で万人共通の義務教育を、八年制の公立小学校を通じて与えられる。中級、それ以上の教育は、資格に合格した生徒は無料で受けることができる。学用品は無料である。国は才能ある生徒に対して援助することができる。

第24条 公立・私立を問わず、児童には、医療・歯科・眼科の治療を無料で受けられる。成長のために休暇と娯楽および適当な運動の機会が与えられる。

クラブ会報編集委員 横瀬 元治